

# ステンレス製品のお手入れについて

## 初めに（必ずお読みください）

ステンレスについて：

ステンレスはサビない金属では有りません。

ご利用の仕方によっては、サビが発生することがあります。

この書類をご覧いただき、ステンレス製品の正しい取り扱い方法や、万一サビが発生した際の対処方法についてご理解ください。

### サビの原因

- !** もらいサビ
- 「もらいサビ」とは空気中や水道水に含まれる鉄分がステンレスに付着してその部分にサビが発生することを言います。鉄分の多い水道水や井戸水、老朽化した水道管の使用、外部のホコリ、チリが入りやすい環境ではサビ発生の原因になりやすいため、ご注意ください。
- 異種金属との接触
- ステンレスの表面に異種金属が触れると、金属間の電位差によりステンレス表面の不動態膜が破壊されて、サビ発生の原因となります。
- 異物付着及び使用
- 塩分、油分を含むものが付着されたままに放置するとサビ発生の原因になります。
- 塩素系洗剤や漂白剤などは使用しないでください。サビ発生の原因になります。

### ステンレス製品の取扱注意事項

- !** 水気の付いた異種金属製品（鉄やアルミなど）を長時間置かないようにしましょう。
- 表面に塩分や油分が付いたら、水で綺麗に洗い流し、乾いた布で乾拭きし、良く乾燥させてください。
- 汚れを取る際はなるべく水洗いをしてください。汚れがしつこい場合は、中性洗剤にて洗い、真水にて良く流してください。
- ヘアラインの付いた製品を洗う際はアルコールや水で薄めた中性洗剤を使用して汚れを落してください。汚れを落した後、水拭きをし、乾燥させてください。

### サビ発生時のお手入れ

- !** 何かの原因で製品がサビてしまったとしても、ステンレス製品のサビは表層のみのため鉄製品のように深く浸蝕されることはありません。適切なお手入れで永くご使用いただけます。
- ステンレスのサビ落としには、クリームタイプのステンレス専用クレンザーをスポンジ等につけて擦り落とします。擦り落した後、必ず水で良くすすいでください。
- 磨き粉、金属たわし、サンドペーパーは使用しないで下さい。サビは落ちますが、深い傷がつき、サビのもとになる恐れがあります。